学校番号	1202

令和８年度　工業科

教科	工業	科目	(学)パソコン基礎実習	単位数	2 単位	年次	2 年次
使用教科書	なし						
副教材等	情報処理技能検定 表計算 2・準 2 級編 （日本情報処理検定協会）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

文書処理・プレゼンテーションと表計算、データベースなどパソコンを活用する基礎技術と知識を学習します。マイクロソフト社の Word と Excel および Access を使用します。

キーボード入力に必要なタッチタイピング練習を毎回実施します。

実習を通して知識を学びます。実習成果の課題提出が重要です。課題は GoogleClassroom に提出してもらいます。各人の学校 ID および GoogleClassroomID が必要です。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】

文書処理・プレゼンテーションと表計算、データベースの用途について理解し、日本語ワードプロセッサ・表計算ソフトウェアとデータベース作成ソフトウェアを操作する知識・技術を習得する。これらアプリケーションソフトウェアに共通して必要な知識を理解し、実際に利用できる技術を習得する。

【思考力、判断力、表現力等】

用途に応じたアプリケーションパッケージを使い分けることを理解し、適切な入力方法とファイル操作ができる。情報を整理・加工・編集し、発信できる能力を身につける。

【学びに向かう力、人間性等】

アプリケーションソフトの機能と操作に興味を持ち、活用して処理を行うために必要な知識や表現力などを積極的に身につける態度を持たせる。友人と協調して課題に取り組み、より良い課題作成に取り組む人間性を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・各種アプリケーションソフトウェアの操作を行う知識をもち、用途に合わせたアプリケーションソフトウェアを使いこなせる技術を身につけている。	・各種アプリケーションソフトウェアを活用して、必要に応じて使い分ける能力と実際に処理を行える実践的な能力を身につけいる。 ・それぞれのアプリケーションソフトウェアを利用し、情報を整理・加工・編集し、情報を発信できている。	・各種アプリケーションソフトウェアの機能と操作に興味をもち、実際にソフトウェアを利用して処理を行うために必要な知識を積極的に身につけようとする態度を持っている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	文書処理	・日本語ワードプロセッサの用途について理解する。また、日本語ワードプロセッサを操作する知識を理解させ、実際に利用できる技能を身につける。	a:日本語ワードプロセッサの適切な操作法の知識をもち、利用できる技能がある。 b:自ら考え、日本語ワードプロセッサで処理を行える実践的な能力を身につけている。 c:日本語ワードプロセッサを活用するための知識を身につけようとする態度を理解している。	座学 授業観察 確認テスト ノート提出 実習 授業観察 課題作成	座学 授業観察 ノート提出 実習 授業観察 課題作成	座学 授業観察 ノート提出 実習 授業観察 課題作成
		・プレゼンテーションの用途について理解する。また、プレゼンテーションソフトを操作する知識を理解させ、実際に利用できる技能を身につける。	a:プレゼンテーションの適切な操作法の知識をもち、利用できる技能がある。 b:自ら考え、情報発信できる実践的な能力を身につけている。 c:情報発信を活用するための知識を身につけようとする態度を理解している。	座学 授業観察 確認テスト ノート提出 実習 授業観察 課題作成	座学 授業観察 ノート提出 実習 授業観察 課題作成	座学 授業観察 ノート提出 実習 授業観察 課題作成
2	表計算	・表計算ソフトウェアの用途について理解する。また、表計算ソフトウェアを操作する知識を理解でき、実際に利用できる技能を身につける。	a:表計算ソフトウェアの適切な操作法の知識をもち、利用できる技能がある。 b:自ら考え、表計算ソフトウェアで処理を行える実践的な能力を身につけている。 c:表計算ソフトウェアを活用するための知識を身につけようとする態度を理解している。	座学 授業観察 確認テスト ノート提出 実習 授業観察 課題作成	座学 授業観察 ノート提出 実習 授業観察 課題作成	座学 授業観察 ノート提出 実習 授業観察 課題作成

3	データベース	・データベースソフトウェアの用途について理解する。また、データベースソフトウェアを操作する知識を理解でき、実際に利用できる技能を身につける。	a:データベースソフトウェアの適切な操作法の知識をもち、利用できる技能がある。 b:自ら考え、データベースソフトウェアで処理を行える実践的な能力を身につけている。 c:データベースソフトウェアを活用するための知識を身につけようとする態度を理解している。	座学 授業観察 確認テスト ノート提出 実習 授業観察 課題作成	座学 授業観察 ノート提出 実習 授業観察 課題作成	座学 授業観察 ノート提出 実習 授業観察 課題作成
				座学 授業観察 確認テスト ノート提出 実習 授業観察 課題作成	座学 授業観察 ノート提出 実習 授業観察 課題作成	座学 授業観察 ノート提出 実習 授業観察 課題作成

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度